



あなたの思いを市政につなぐ！

「オール甲賀で未来につなぐ！

『新しい豊かさ』へのチャレンジ」

をポイントにした甲賀市の令和6年度予算が決定しました。

みなさまから届けていただきました「あなたの思い」が、市政につながっています。その一部を報告させていただきます。



(空調がなかった時代の授業風景)

3月定例会 補正予算

中学校特別教室への空調設備の整備

令和4年度から要望し、当初予算にはなかった「中学校特別教室への空調設備整備」に対する補正予算が成立しました。今年の夏から使用できるよう、令和6年度当初予算ではなく、令和5年度の「補正予算」として提出されました。年度途中の補正による施設設計から国への申請等、国費の交付決定に尽力された担当部局に感謝申し上げます。建設現場の人員不足が心配ですが、何とか今年の夏に間に合いますように願っています。

尚、小学校特別教室への整備は、中学校の整備完了とともに早期整備をめざし令和6年度当初予算で成立しました。

令和6年度 当初予算

広島平和記念式典への小学生派遣

昨年6月定例会の一般質問で取り上げた「広島平和事業への小学生派遣の復活」についても、中止の原因となっていた「熱中症」に対して新幹線の利用や平和公園近くの宿泊施設を確保する等、対策をした予算が成立しました。

今年の8月に行われる「甲賀市戦没者慰霊祭」において、広島平和記念式典に参加した子どもたちが、5年ぶりに市民を代表して、式典に参列した報告と共に、『平和への思い』を発表してくれます。



さまざまな支援の充実

誰一人取り残さない社会に向けて、さまざまな「しんどさ」を支えるための支援が新設・拡充！

不登校への支援

- * 全ての小学校（21校）にスペシャルサポートルームを設置し、スクーリングサポーター（42名）を配置して支援の充実に取り組む。（新設）
- * フリースクールの利用者に対するこれまでの支援に加え、新たに「通学費」を支援をする。（拡充）

子育て支援

- * 市内の保育施設におむつの無償提供を行うことで子育て世代の支援と共に、保育士の業務軽減によって保育の充実を図る。（新設）

日本語の支援

- * 綾野小学校に2つめの日本語初期指導教室を設置する。（拡充）

青少年への支援

- * 少年センターに新たに心理士を配置して、青少年やその保護者への支援の充実を図る。（拡充）

中学生部活動への支援

- * 部活動指導員を増員することで活動の充実と共に、教職員の負担軽減を図る。（拡充）
- * 小規模校で部活動の選択肢が少ない生徒に対して、拠点中学校の部活動に参加する場合の移動費用等の支援を行う。（新設）



(部活動に励む中学生たち)

3月定例会…一般質問 3月5日

1, 区・自治会が所有する自治ハウス等の整備

自治ハウスの現状と整備補助事業の拡充を！



元日に発生した能登半島地震は、石川県を中心に甚大な被害をもたらしました。発生が正月休みであったことや、自治体職員も多くも被災者であったことから、改めて『自助・共助』の重要性を再認識することとなりました。このような中、ある地域の区長さんから「自治ハウスの建替え」についての相談をいただきました。自治ハウスは、地域によって公民館・草の根ハウス・集会所等、様々な名前と呼ばれています。住民にとっては、一番身近な建物で災害時の「自主避難場所」にも指定されています。そこで、老朽化が進む自治ハウスの現状と整備に関して、質問・提案をしました。

質問：災害時には避難所ともなりうる自治ハウスの現状（数・老朽化）は？

（答弁）市内には202の区・自治会があり、おおむね全ての地域に自治ハウスが設置されています。また、それ以外に集会所等を所有されている地域も数多くあります。

これらの自治ハウスの多くは、国の「老人憩いの家の推進」や、県による「草の根ハウス設置事業」の一環として整備されたものが多く、1970～1980年代に建築されていることから、新耐震基準以前の建築物もあり、一定程度老朽化が進んでいるのではないかと考えています。

質問：甲賀市が行っている自治ハウスへの補助事業の内容は？また、他市町の補助制度は？

（答弁）本市における「自治ハウス等整備事業補助金」は、区・自治会等が設置する集会所等の

①建築及び購入 ②耐震補強 ③バリアフリー改修、等に要する経費の一部を補助する。補助率は、対象経費の3分の1で、補助上限額は①676万円 ②100万円 ③66万円です。

他市町の補助制度については、県内17市町において、県の補助制度に準じた形で運用しており、一部の市町については県の補助制度では対象とならない内容を市町独自で支援しているところもあります。

質問：下の表は、甲賀市と湖南市の自治ハウスへの補助事業の内容を比較したものです。事業の拡充についての市の見解は？

甲賀市と湖南市における補助金の上限額（各市の要綱から抜粋）

	甲賀市	湖南市
建物建築・購入	676万円 (1/3)	900万円 (1/2)
耐震補強改造	100万円 (1/3)	900万円 (1/2)
バリアフリー化改造	66万円 (1/3)	200万円 (1/2)
耐震診断（木造）	1.6万円 (1/3)	8万円 (1/3)
耐震診断（非木造）	8.3万円 (1/3)	20万円 (1/3)

（答弁）利用者の高齢化によりバリアフリー化改修の必要性が高まり、老朽化による修繕等の経費も増えている現状等のご意見をいただく機会が増えています。このことから、地域の特性に合わせた自治ハウスの整備や補助制度の拡充に向けて調査研究を進めると共に、自治交付金などの見直しを進める中で、柔軟な制度運用も視野に入れてまいります。

提案：全体的な補助事業の拡充を進めると共に、避難所から遠い地域や孤立する地域について、補助率の加算等の特別な支援が必要ではないか？

（答弁）中山間地域において孤立が懸念される地域や公共施設への避難が困難な場合において、自治ハウスは防災拠点としての大きな価値を持つものであります。地域の特性に合わせて判断していく必要があると考えます。



（防災かまどのある耕心区公民館）

甲賀市の自治ハウス整備に関する事業

省エネ機器設置事業…空調設備等に対する補助（上限 25万円 補助率 1/2）
 発電設備設置事業 …太陽光発電設備等に対する補助（上限 200万円 補助率 1/2）

甲賀市には、自治ハウスに対する様々な補助事業があります。人口減少や高齢化が進む区・自治会では、自治ハウスの維持を検討されているところもあるようです。まちづくりの拠点となる「自治ハウス」のあり様については、次代を担う若い世代を含めた各地域での議論が必要です。

2、持続可能で地域に根ざした保育施設の整備

老朽化する公立保育園の現状と存続について

令和4年9月議会の一般質問において「信楽町・土山町・甲賀町の再編計画」について質問し、市長は「再編検討委員会の報告を受け、保護者・地域の皆様と意見交換をして進める。老朽化が進んでいることから長寿命化計画に基づき、修繕・改修を行い、安全な保育の実施に努める。」と答弁されました。

甲賀市幼保再編計画がつくられて10年、統合民営化によって水口町(4園)・甲南町(3園)の7つの保育園が閉園しました。

また、土山町(2園)・信楽町(2園)・甲南町(1園)の5つの小規模保育園が休園・閉園して、公立保育園は現在10園になりました。

そこで、10園のうち老朽化が進んでいる公立保育園(下記の5園)について、以下の質問・提案をしました。

希望ヶ丘保育園	昭和56(1981)年度建設	築42年経過
雲井保育園	昭和53(1978)年度建設	築45年経過
大野保育園	昭和58(1983)年度建設	築40年経過
土山保育園	昭和60(1985)年度建設	築38年経過
甲賀北保育園	昭和52(1977)年度建設	築46年経過

質問：甲南町唯一の公立園、希望ヶ丘保育園の建替えは？

(答弁) 希望ヶ丘保育園は、平成29(2017)年度に「耐震補強・屋根改修・内装・空調」等の大規模改修工事を実施しており、建替えは考えていません。

再問：信楽・水口町の公立園は建替えされてたが、甲南町の公立園が大規模改修となったのはなぜか？

(答弁) 水口西保育園は、移転により整備し、信楽保育園は周辺整備計画により整備しました。希望ヶ丘保育園は、計画に則って大規模改修で対応してまいりました。耐久性については施設長寿命化計画において建物の耐久年数を80年としております。しかし、今後経年劣化等については、新たな整備方針を検討してまいります。

質問：①信楽町(雲井保育園)、②土山町(大野・土山保育園)、③甲賀町(甲賀北保育園)の老朽化対策と再編は？

(答弁) ①雲井保育園は、令和4年度に「内装」の改修工事を実施しております。信楽こども園への統合は、取り組みを推進する必要性を認識し、具体的な検討を進めてまいります。
②大野保育園は、本年度に「内装・外壁」等の改修工事を実施しております。土山保育園は、令和3年度に「内装」、令和5年度に「空調」等の改修工事を実施しております。
③甲賀北保育園は、令和3年度に「空調」、令和4年度に「内装」の改修工事を実施しております。統合民営化に関しては、現時点で具体的な方向性は定まっていません。今後も必要に応じて、安全で安心な保育環境を維持するために維持補修に努めます。

提案：雲井には10名、大野には6名、甲賀北には9名が他町から通園されています。保護者の送迎や選択枝の保障をするためにも存続を提案します。市長の見解は？

(答弁) 公立園の再編に関しては、現計画が令和6年度末をもって終了します。今後については、議員提案の意見も含め、市の付属機関である「子ども・子育て応援団会議」等から意見をいただき、より良い環境が提供できる施設整備の在り方について、検討を進めます。

命を守る建物・・・台風で損壊した保育園

2018年9月4日の昼過ぎ、甲南北保育園の玄関の屋根が台風21号の暴風によって損壊しました。関西空港の連絡橋にタンカーが衝突した台風の時のことでした。

この日、小中学校・高校は臨時休校となって「登園児は4名だけで、直後にお迎えに来られた保護者はパニック状態で保育室に飛び込んでこられました。」と当時の保育士さんからその時の話を聞かせていただきました。

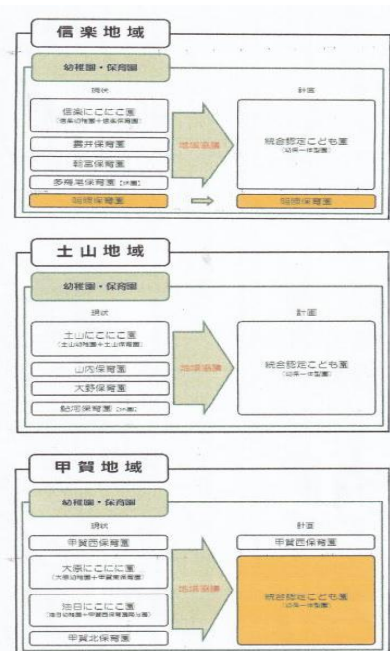
その後、甲南北保育園は休園。通園していた幼児は、保育士とともに甲南西保育園に転園して、保育園はそのまま閉園となり解体されました。台風のように事前に予想できる災害に対して小中学校や高校は「臨時休校」を行いますが、保育園は台風でも休園していません。

保育施設は長期休暇もなく、小さな命を一日11時間にわたって預かっておられるのです。

「一般質問での発言」より

*下記のサイトからインターネット録画でご覧いただけます。

<https://gikai.city.koka.lg.jp/schedule/index.html>



(甲南北保育園の跡地)

子ども議員との交流会

子どもは未来！甲賀に進風を！

1月28日（日）に13回目となる「甲賀市子ども議会」が本会議場で開催されました。

令和5年度は、市長から任命された13名の子ども議員が、半年以上の活動を通して「甲賀市をこんなまちにしたい！」という思いをまとめ、市長をはじめ各執行部に提案しました。

これまでに延べ276名の子ども議員から提案されたの意見がたくさん実現しています。「中学3年で引退した後も、後輩たちを支える側で活動している高校生や大学生の存在は大きな力になっています。」と、『かふか21子ども未来会議』の方から聴かせていただきました。

2月18日（日）には開催された最後の取組となる『ファイナルキャンプ』に甲賀市議会広報部会の議員が参加して、子ども議員や高校生・大学生とグループに分かれて交流し、

「どうして議員になろうと思ったのか！」

「甲賀市をこんなまちにしたい！」等

議員としての思いを語り合いました。

（詳しくは、4月末発行の「甲賀市議会だより vol.78」をご覧ください）

甲南駅の周辺整備

ニューポリス団地からの坂道

甲南町のニューポリス団地と甲南駅をつなぐ長い坂道に溝ぶたが設置されました。昨年、団地側からの数十mに溝にふたが設置されましたが、駅側からの100m程が未設置でした。



この坂道は、小学生の通学路で、甲南駅を利用して通勤・通学する方もたくさん通られます。また、以前は雨が降るたびに大量の落ち葉が溝に流れ込み、坂の下の道に土砂とともにがあふれ出していました。溝ぶたができたことで少なくなりました。



（甲南駅に向かう溝ぶたができた坂道）

葛木区（甲南病院）から甲南駅方面へ

葛木方面から甲南駅をつなぐJR線北側市道の側溝工事は、様々な理由で令和6年度まで持ち越しになっています。現在、6月末の完了を目指して進められています。

この道も、小学生の通学路で、甲南駅を利用して通勤・通学する方もたくさん通られます。舗装工事のために短期的な「通行止め」もありますのでご注意ください。



（工事中の市道 - 3月末撮影）

市営甲南駅南駐車場の利用開始

4月から「市営甲南駅南駐車場」の利用が開始されました。ご利用については、甲南駅の改札窓口にて対応されています。料金は1日300円です。

甲南駅北口への自動車乗入と市営駐車場

2019年5月11日に甲南駅新駅舎の利用が開始され、駅北側からの乗車ができるようになり、その後様々な周辺整備が行われています。

今年度は、周辺の道路整備を行い、ようやく甲南駅北口のロータリーに自動車の乗り入れができるようになる予定です。

また、同時に市営甲南駅北駐車場も整備されます。



（車両進入禁止の甲南駅北側）



（市営甲南駅南駐車場）



ホームページ



Facebook

ご意見・ご要望の問い合わせ先は、表紙等に記載しております。

また、日常の活動等については、Facebookをご覧ください。

これからも、あなたの声を聴かせててください！